



◇ 今回は、英語科の授業改善に関する報告です！

本年度は『しっかりとした「知識・技能」の習得の上にとって、「思考力、判断力、表現力」を育み、学ぶ意欲を高める教育内容・方法を研究し実践する』ことを目標としています。その中で、英語科では授業等で身に付けた知識・技能・語学力をもとに思考力や判断力を育成し、コミュニケーション力、表現力を伸ばす授業方法を研究しています。習得した様々な力を課題発見・解決力へと統合し、SGH課題解決型研究や社会貢献活動に生かすためには、英語によるコミュニケーション力・表現力・語学力は不可欠です。そのため生徒主体の授業を展開するため、豊富な言語活動やアクティブ・ラーニング等を積極的に授業に取り入れるとともに ICT を適切に活用し、4技能を総合的に育成する授業方法・言語活動を模索し、授業改善に英語科全体で取り組んでいます。

◇ 授業改善

- 本年度の研究テーマ：「学ぶ意欲を高め、英語力の定着を図る指導法の研究」
 - ・4技能を総合的に育成する指導法の研究
 - ・生徒の英語による言語活動が主体となる授業の工夫

◇ 研究授業

本年度の研究テーマに即して研究授業を実施しました。この研究授業は県のスキルアップ講座の一つとして実施されたため、指導主事の先生方、他校から基礎形成期の先生方が参加されました。授業後には参観者全員で授業研究を行いました。

日 時： 令和元年6月18日(火) 第3限
授業者： 林 ちひろ 教諭 学 級： 普通科2年3組
教 材： Genius English Communication II
Lesson 3 Nature Technology

■ 授業担当者の感想

レッスンの1時間目の授業であったため、Nature Technology とは何かを読み取ること、文脈から内容を推測しながら読むことを目標として授業を展開した。Nature Technology とはどんなテクノロジーを指していると思うか、という質問を授業のスタートとし、各自で考え、ペアで意見を交流した後、動画を用いて内容を理解させた。動画はただ見せるのではなく、自分の考えと比較しながら答えを見つけるために動画を見る、というように目的を明らかにしたことで、生徒の集中力を高めることができたと感じている。また、オーセンティックな教材を用いることで、生徒の興味関心を喚起するとともに英語の自然なスピードに気付かせることができた。

また、本文をまだ一度も見えていないという状況であったため、未知語を推測する活動を取り入れた。どんな英文を読むときも常にすべての単語を知っているわけではないので、前後から推測する、状況から推測する、接頭辞から推測するなど推測のパターンを知るきっかけとなったのではないかと思う。

■ 参観者の感想

- ・使用された動画の難易度が生徒のレベルにあっており、理解に役立っていた。



- ・生徒が積極的に授業に参加しているのが印象的だった。
- ・生徒たちにとって話しやすい雰囲気を作られていた。
- ・未知語の推測はとて面白い活動だと思った。前後から推測する力は時間をかけて伸ばしていく必要がある。
- ・ICTが有効に活用されていた。動画だけでなく、ヒントとして与えるイラストなどにも工夫が凝らされていた。
- ・動画のタイミングなど授業展開がきちんと考えられており、目標が達成された授業だった。

◇ 英語科の取り組み

英語によるコミュニケーション力・表現力・語学力の育成はインプットからアウトプット・発信力へと繋げています。



- ・令和元年8月25日 英語で想いを語る会
- ・令和元年11月16日 第4回岐阜県高校生英語プレゼンテーション大会
一般的には豊かな日本の社会の中で、孤食や飢餓、孤独に苦しむ子供たちに、食事や人とのつながりを与える場所の一例として子供食堂の取り組みを紹介し、高校生として社会問題の解決に向けてできることを提案しました。
- ・令和元年9月21日 英語スピーチコンテスト地区大会（左上写真）
- ・令和元年10月27日 英語スピーチコンテスト県大会（左下写真）
- ・令和元年11月17日 第35回高等学校英語弁論大会（朝日大学主催）
自らの思いを英語で表現することの楽しさと難しさを知りました。
- ・令和2年1月28日 GTEC Basic / Advanced の受検（右上写真）
これまでに培った自分の英語力を測定するよい機会となっています。
- ・令和2年3月4日 SGH課題研究発表会
課題研究の集大成となる発表会で、2年生と海外研修の部は英語で司会進行、発表が行われました。
- ・English Library を本館3階、4階廊下に新設（右下写真）
各階に100冊程の洋書を配置し、生徒はいつでも自由に借りることができるようになりました。自分のレベルに合った本を自分で選ぶことができると好評です。

◇ まとめと次年度への課題

本年度も英語によるコミュニケーション力・表現力・語学力の育成のため様々な取り組みを実施しました。授業を通して身に付けた4技能を最大限に生かして、課外活動や日常の実践へと繋げていくことが英語科の目指すところであり、その意味では一定の成果を挙げています。次年度への課題としては、本年度の取り組みをさらに精選・改善し、より豊富な言語活動の場を取り入れることで、外国語で意思疎通が図れる楽しさ、英語を学ぶ意義や重要性などを伝えていきたいと考えています。